

# 競輪事業の持続的発展のための新たな取組

令和2年6月15日

公益財団法人 J K A  
公益社団法人全国競輪施行者協議会  
一般社団法人日本競輪選手会

# ①-1 東京オリンピック延期を踏まえた250KEIRIN（仮称）の状況【再掲】

競輪の誕生から70年余が経過し、近年ではお客様の高齢化、新規お客様獲得の伸び悩みが最大の課題となっている。

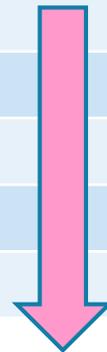
競輪は2000年シドニー大会からオリンピック種目として採用されており、競輪選手が国際大会で戦い結果を残すことにより、スポーツとしての認知度も上がり、スポーツ性を訴求するPRも行い新規お客様獲得を行ってきた。

更に、千葉競輪場が自転車競技の国際標準である、屋内250m走路に生まれ変わることを機に、新たな商品として250KEIRIN（仮称）を作り上げ、新規お客様獲得のためのキラーコンテンツとすべく、準備を進めている。

2021年に延期となった東京オリンピックで更に高まるスポーツ競技への関心を最大限活かし、スポーツ愛好者へ向けWEBを中心としたPRを効果的に行い、特に若年層の新規お客様獲得を目指す。



年月	当初予定	新型コロナウイルスの影響によるスケジュールの見直し
2020年7月	東京オリンピック	1年延期
	記者発表	
2020年12月	（仮称）千葉公園ドーム完成	ゼネコンの工期3ヶ月遅延
	施設お披露目	
	前あおりPR（WEB中心）	
2021年3月	250KEIRIN（仮称）スタート	（仮称）千葉公園ドーム完成
	お客様拡大PR（WEB中心）	記者発表・施設お披露目
		前あおりPR（WEB中心）
2021年5月		250KEIRIN（仮称）スタート
		お客様拡大PR（WEB中心）
2021年7月		東京オリンピック
		お客様拡大PR（WEB中心）



# ①-2 東京オリンピック延期を踏まえた250KEIRIN（仮称）の状況【再掲】

課題項目	実施済み	今後整備予定
法令、規程等	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設告示（経済産業省）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振興法人の業務規程</li> <li>実施条例、実施規則、競技規則</li> </ul>
施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧千葉競輪場（500m）解体済み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>（仮称）千葉公園ドーム（250m）建設中（千葉市）</li> <li>2021年3月完成予定</li> </ul>
システム関連		<ul style="list-style-type: none"> <li>投票システム（千葉市）、競技情報システム（JKA）は2020年11月末完成に向け開発中</li> </ul>
選手養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>現役選手に対する250講習会を2020年6月より実施中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2020年度内に現役選手約600名に対する講習を完了する予定（JKA）</li> <li>候補生は養成所カリキュラムとして250訓練を実施する予定（JKA）</li> </ul>
制度関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>250KEIRIN（仮称）のトーナメント表及び賞金が決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催運営に関する諸制度については、2020年12月までに決定する予定</li> </ul>
広報宣伝・場内演出		<ul style="list-style-type: none"> <li>ロゴマーク、ユニフォームの製作</li> <li>新たな映像技術の導入、競技情報の提供等に関する調査研究の実施（JKA）</li> </ul>

# ①-3 東京オリンピック延期を踏まえた250KEIRIN（仮称）の状況【再掲】

## トラックパーティー、6DAYS

250KEIRIN（仮称）は、自転車競技と同様な競走路、ルールで実施されるため、既存のお客様もさることながら、日本国内、さらには世界の自転車競技に興味のある層を取り込むことが課題である。また、日本や世界で行われている自転車競技のイベントを鑑みると、様々な層を取り込むことも期待されている。

### ○トラックパーティー

2011年に行った第1回に続き、250KEIRIN（仮称）のテストの場として、伊豆ベロドロームにて、トラックパーティーを2018年の5月と10月の2回開催した。伊豆ベロドロームの収容人数が3,000名のところ、連日満員となる来場があり、新たな映像や音及び光を駆使した演出なども行い、大盛況となった。

### ○6DAYS

世界では自転車競技の人気の高い。毎年、ヨーロッパの各地で開催されている6DAYSは、自転車競技とエンターテインメントがミックスされた、伝統的な冬のイベントとして楽しまれている。

## 映像、音、光を駆使した新たな競技の演出

250KEIRIN（仮称）では、自転車競技に興味のある新たなお客様、インターネットで車券を購入するお客様をターゲットとしたインターネット放映等、迫力のある映像の提供、音や光を駆使した新たな競技の演出の検討を行っている。

### ○小型カメラの車載映像

自転車に取り付けた小型カメラの映像をリアルタイムで配信し、選手目線での迫力ある映像を提供する。

### ○180度カメラ

広画角の映像で、レースの迫力と競技場の臨場感をお客様に提供する。

### ○音や光を駆使した演出

走路面をライトアップすることによりレースの見やすさを向上させ、レーザー光線やプロジェクションマッピング等を駆使し、インドアならではの多彩な光の演出を行う。また、インドア効果として、大音量での迫力ある演出も可能となる。



▲トラックパーティー  
2018 in AUTUMN



▲6DAYS Berlin



▲小型カメラの車載映像



# ①-4 日本競輪選手養成所に250mトラック（JKA250）の新設【JKA】 【再掲】

現在、250KEIRIN（仮称）の実施が検討されていることから、選手候補生の訓練場所として、伊豆市の日本競輪選手養成所敷地内に屋内型板張り250mトラックである「JKA250」を建設した（2019年7月竣工、訓練開始）。また、自転車競技の国際大会は主に屋内型板張り250mトラックで行われている。世界に通用する競輪選手の育成は、競輪界の発展の喫緊の課題であり、「JKA250」は、2020年東京オリンピックに向けた自転車競技ナショナルチームの強化事業への協力をはじめとする自転車競技の更なる振興・発展のためにも活用されている。



▲ JKA250

# ①-5 東京オリンピック 自転車トラック競技出場選手について【再掲】

昨年11月から本年3月にかけて、2019-2020年シーズンの自転車競技大会が開かれ、出場した日本代表選手の成績によりオリンピック出場枠が決まり、本年6月3日に出場する選手が決定。出場種目と出場選手は以下のとおり。①氏名②年齢③出身地④通算勝利数⑤通算優勝回数⑥主なタイトル⑦生涯獲得賞金

<p>短距離種目 男子ケイリン・スプリント</p>  <p>日本競輪選手会</p> <p>ワケト イウ ①脇本 雄太 ②31歳/③福井県 ④265勝/⑤43回 ⑥第73回日本選手権競輪(松戸)【完全優勝】/⑦5.9億円</p>	<p>短距離種目 男子ケイリン・スプリント</p>  <p>日本競輪選手会</p> <p>ニウタ イウダイ ①新田 祐大 ②34歳/③福島県 ④303勝/⑤50回 ⑥第62回オールスター競輪(名古屋)/⑦9.6億円</p>	<p>短距離種目 女子ケイリン・スプリント</p>  <p>日本競輪選手会</p> <p>コバヤシ イウカ ①小林 優香 ②26歳/③佐賀県 ④192勝/⑤62回 ⑥ガールズグランプリ(京王閣)/⑦0.7億円</p>	<p>中距離種目 男子オムニアム</p>  <p>日本競輪選手会</p> <p>ハシモト イエイ ①橋本 英也 ②26歳/③岐阜県 ④29勝/⑤6回/ ⑦0.05億円</p>	<p>中距離種目 女子オムニアム・マディソン</p>  <p>筑波大学大学院</p> <p>ハラ ユメ ①梶原 悠未 ②23歳/③埼玉県</p>	<p>中距離種目 女子マディソン</p>  <p>日本写真判定(株)</p> <p>ナカムラ トモコ ①中村 妃智 ②27歳/③千葉県</p>
--	--	---	--	---	--

## 2019-2020年シーズンのナショナルチームの主な戦績

<p><b>アジア自転車競技選手権大会-トラック</b></p> <p>金メダル5個【短距離2個 中距離3個】 銀メダル3個【短距離2個 中距離1個】 銅メダル4個【短距離3個 中距離1個】</p>	<p><b>2019-2020トラックワールドカップ 第1戦~第6戦</b></p> <p>金メダル4個【短距離2個 中距離2個】 銀メダル1個【短距離1個】 銅メダル5個【短距離4個 中距離1個】</p>	<p><b>UCIトラック世界選手権 ベルリン大会</b></p> <p>金メダル1個【中距離】 銀メダル1個【短距離】</p>
---	---	--

## まとめ

新型コロナウイルスの影響により、ゼネコンの工期に遅延が生じ、（仮称）千葉公園ドームの完成が遅れることから、250KEIRIN（仮称）のスタート時期及びそれに向けた準備スケジュールを見直すとともに、東京オリンピックが1年延期となったことに伴うPR戦略の見直しを行う。

今後は、法令、規程等の改正を最優先として、250KEIRIN（仮称）の運営に関する諸制度を年内に決定し、選手及び審判員等執務員の育成を行いつつ、施設完成とともに速やかに開催が開始できるよう準備を進める。



▲旧千葉競輪場が取り壊され更地となった状態



▲建設中の新千葉競輪場  
2020年5月27日現在



▲JKA250で競走訓練中の  
117期選手候補生  
(2019年訓練より)



▲JKA250における  
出場希望選手への講習会

# ② 日本競輪選手養成所へ名称変更、養成カリキュラムの改正【JKA】

## ○「日本競輪選手養成所」へ、名称一新

外部有識者を含めたNKG教育再検討プロジェクトを発足させ教育改革を実施した。  
日本競輪学校は、学校教育法の定める学校ではなく、「プロ選手を養成する施設」「職業訓練を行う施設」であるため、外部から見て、競輪選手の養成に特化した施設であることが明確となるよう、日本競輪学校の名称を一新し「日本競輪選手養成所」（JIK）に変更した。

## ○養成カリキュラムの改正

最先端のトレーニング理論の取入れや、短期登録制度による外国人選手との対戦機会増加に対応するため選手養成機関としての向上を目的にカリキュラムの見直しを行った。



▲名称一新をPRするポスター

### 科学的トレーニングの導入

- ・短距離ナショナルチームのトレーニング理論を適用した訓練の拡充。
- ・トレーニング中の走行データ等を解析できる訓練機材の導入。
- ・選手候補生が自主的にトレーニングできるよう『自主トレーニング用マニュアル』を作成。
- ・科学的サポートができるよう教官研修を実施。

### 充実した学科講義の導入

- ・大学教授等専門家によるメンタルトレーニングの授業と合わせ、選手候補生自らが行うセルフマネジメントを強化。
- ・お客様相談室に寄せられる「お客様の生の声」を教材にした授業の導入。
- ・プロ選手として適切な情報発信ができるよう、インタビュー形式の授業の導入や、リスクマネジメント能力を身に付けるため、SNS等の使用方法に関する授業の導入。
- ・外国人選手とも必要なコミュニケーションが取れるよう、英会話の授業を導入。



写真①



写真②



写真③



写真④

▲候補生のトレーニング風景 写真①：最新式のレッグプレス機 写真②③：パフォーマンスの変化を数値で確認する。写真④：映像によって正しく効率的な動作を身につける。

### ③ 早期卒業者の誕生【JKA】

#### ○日本競輪選手養成所候補生の早期卒業

日本競輪選手養成所が定める養成期間の短縮「早期卒業制度」は、優れた資質に恵まれ、スター選手になり得る逸材の走りをいち早くお客様に提供することで、お客様の競輪への興味関心等を喚起することを目的としている。本制度発足以来、初の早期卒業生2名が誕生し、同期に先んじて2020年1月にデビューした2名の選手は期待に違わぬ活躍を見せ、2名ともにデビューから土つかずの9連勝を達成し、ストレートでA級2班へランクアップを果たした。

また、寺崎選手についてはデビューから18連勝でS級へ特進を果たし、同記録は史上2人目の快挙となった。

その後、デビューから79日でS級初優勝を果たし、史上最速のS級優勝を飾った。



▲早期卒業した選手のレース



▲寺崎選手 S級特進関連トピックス (KEIRIN.JPより)



▲早期卒業者のPRポスター

選手名	出走数	1着	2着	3着	優勝
寺崎浩平	29出走	26回	0回	2回	9回
菊池岳仁	27出走	20回	5回	0回	5回

5月31日現在



▲(早期卒業者を含む) 新人PRホームページ「KEIRIN ROOKIES.JP」

## ④ 競輪ルーキーシリーズ2020の実施【JKA】

これまで新人選手は3月に日本競輪選手養成所を卒業し、4月～6月に研修を行った後、7月から先輩選手の中に入りデビュー戦を迎えていた。

今回、①「名前」そして「顔」をいち早くお客様に周知する。②1年間養成所で鍛え上げた「脚力」を発揮することで、お客様に金の卵をいち早く発見していただくこと。③従来より早い時期に新人選手の7車立レースを提供することで7車立てを好むインターネット投票のお客様を中心に、お客様の注目等に繋げること。④PR及び競走成績等の情報提供を充実させることで本年7月以降に出場する開催のお客様の注目等に繋げること。と4つの目的により「競輪ルーキーシリーズ2020」を新設し、第117回生（男子）及び第118回生（女子）の新人選手達が、本年5月～6月に新人選手同士でレースを行うこととした。

本シリーズについては、新人選手の情報充実させ提供し、ヤングパワー同士の熱い戦いを積極的にPRを行った。

更に7月以降、迎え撃つ先輩選手に立ち向かい、彼ら彼女たちが競輪界を盛り上げる。

### ●競輪ルーキーシリーズ2020の実施概要

名称	開催場	開催形態	番組
競輪 ルーキーシリーズ 2020	①5月15日（金）～17日（日） 広島競輪場 ②5月29日（金）～31日（日） 小倉競輪場 ③6月12日（金）～14日（日） 伊東温泉競輪場	男子新人選手 5レース×7車立 女子新人選手 2レース×7車立	初日、2日目は予選、最終日は「決勝」と「一般」



広島競輪場での  
◀開催の状況

優勝した町田太我  
（広島）選手▶



広島競輪場での  
◀開催の状況

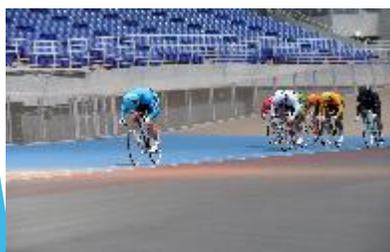
優勝した永塚祐子  
（神奈川）選手▶



# ⑤ 競輪ルーキーシリーズ2020の実施【JKA】

## ○実施結果

開催場	売上	短評	参考
広島	<p><b>総売上10.5億円</b></p> <p>初日（金）：2.7億円 2日目（土）：3.7億円 最終日（日）：4.1億円</p>	初めての試みであり、競合状況の違いもあるため単純比較は出来ないものの、7車立レースの新人男子、女子共に支持を得て、比較対象とした本年4月静岡FⅡ（総売上9.5億円[ガールズなし・曜日は同じ]・無観客開催）や本年3月福井FⅡ（総売上1.7億円[ガールズあり・曜日違い]・無観客開催）を上回る売上があった。	<p><b>福井（3月）</b></p> <p>初日（土）：0.5億円 2日目（日）：0.6億円 最終日（月）：0.6億円</p> <p><b>静岡（4月）</b></p> <p>初日（金）：2.6億円 2日目（土）：2.9億円 最終日（日）：4.0億円</p>
開催場	売上	短評	参考
小倉	<p><b>総売上4.1億円</b></p> <p>初日（金）：1.3億円 2日目（土）：1.3億円 最終日（日）：1.5億円</p>	広島に続いて2回目の実施で、ナイターとしては初。FⅠ開催との競合があり、昼間単独の開催となった広島には及ばなかったが、7車立てレースの新人男子、女子共に支持を得て、比較対象とした本年3月四日市FⅡナイター（総売上3.9億円[ガールズあり・曜日同じ・FⅠ競合同じ]・無観客開催）を上回る売上があった。	<p><b>四日市（3月）</b></p> <p>初日（金）：1.2億円 2日目（土）：1.2億円 最終日（日）：1.5億円</p>



小倉競輪場での  
◀開催の状況

優勝した山口拳矢  
（岐阜）選手▶



小倉競輪場での  
◀開催の状況

優勝した尾方真生  
（福岡）選手▶



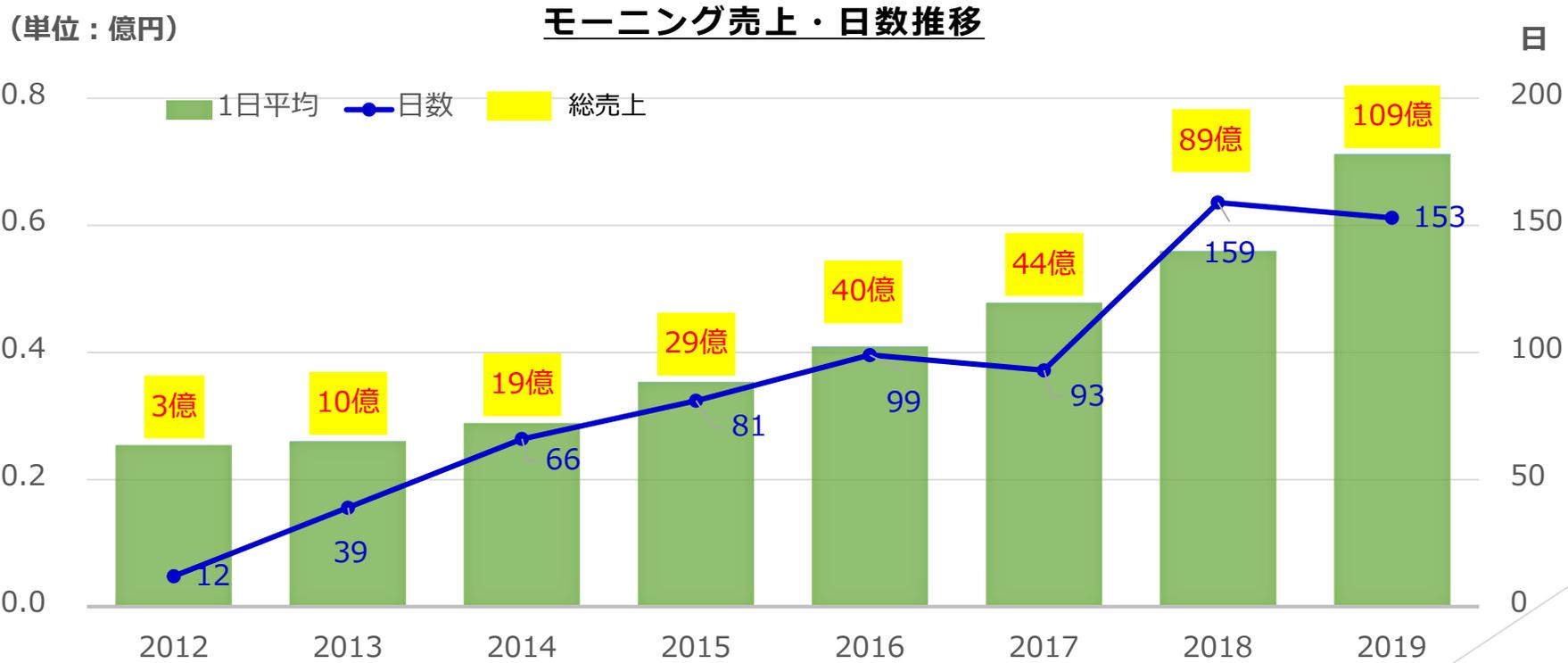
# ⑥ モーニング競輪の現状【J K A】

2012年度より朝9時頃に第1レースが行われる開催を一部の競輪場で実施し、インターネット投票の普及等もあり、お客様の朝の時間帯の需要に応える開催となっている。（※昼間開催は10時頃から第1レース開始）

2019年8月及び9月には、試行的に第1レースが行われる時刻を8時30分（通常は9時頃）とすることで、他公営競技のインターネット投票のお客様を誘引し購入促進を図るとともに、昼間開催との競走タイミングの重複を緩和することで、モーニング競輪全体の売上を向上を図った。お客様周知のため、KEIRIN.JPにトピックスを掲載したほか、地元紙への広告掲載等をした。引き続き2020年5月から9月にかけても試行実施を行う。



▲地元紙にイベント実施の広告（抽選会・朝食イベント）

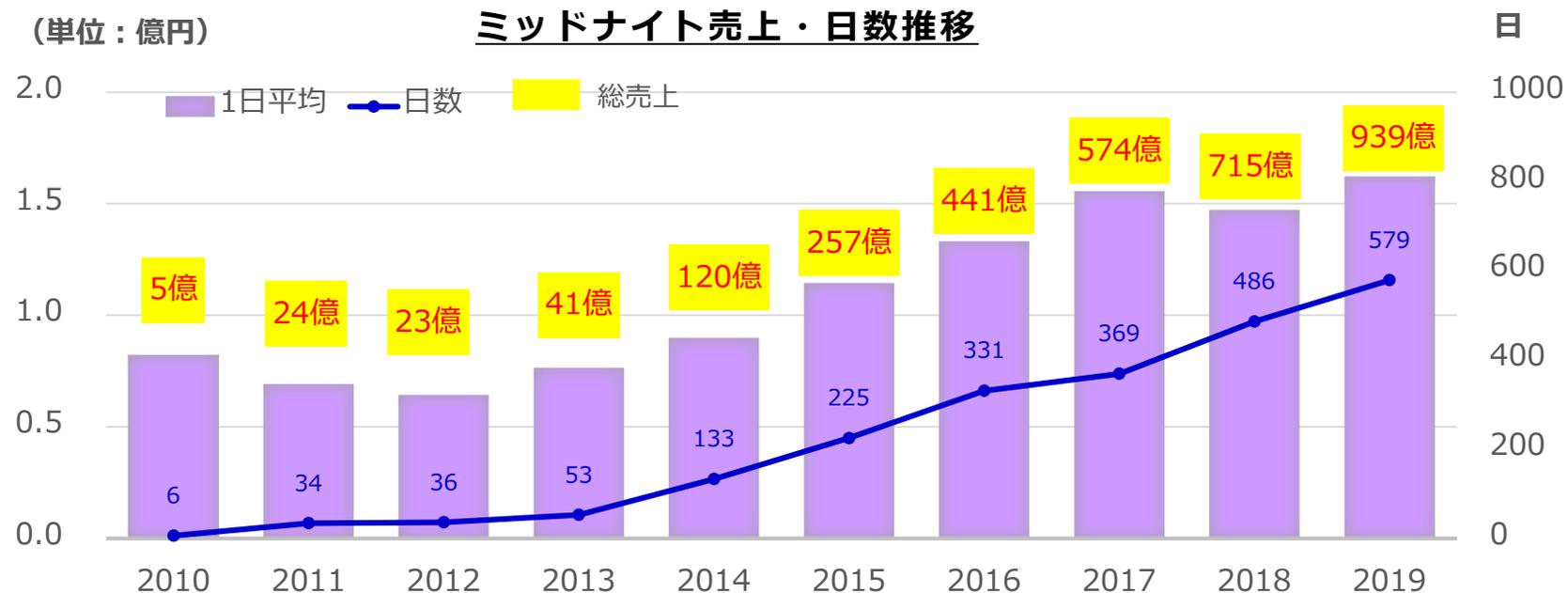


▲実際に集まったお客様の様子（2019年9月28日撮影）

## ⑦ ミッドナイト競輪の現状【JKA】

新規お客様の獲得を目的に、夜9時からの開催という公営競技初の試みとして2010年度に始まった。インターネット投票の普及により年々ミッドナイト競輪の投票者数が増加、夜間の新たな層のお客様の開拓に成功し、競輪の売上6年連続プラスの一番の要因となった。

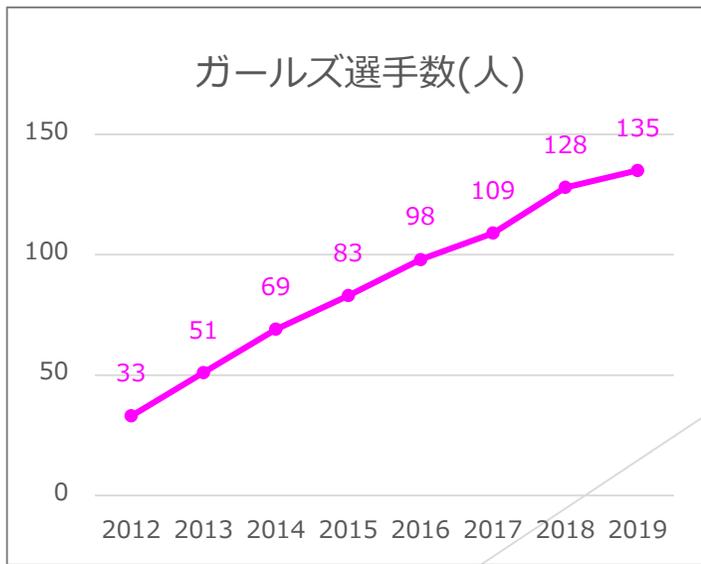
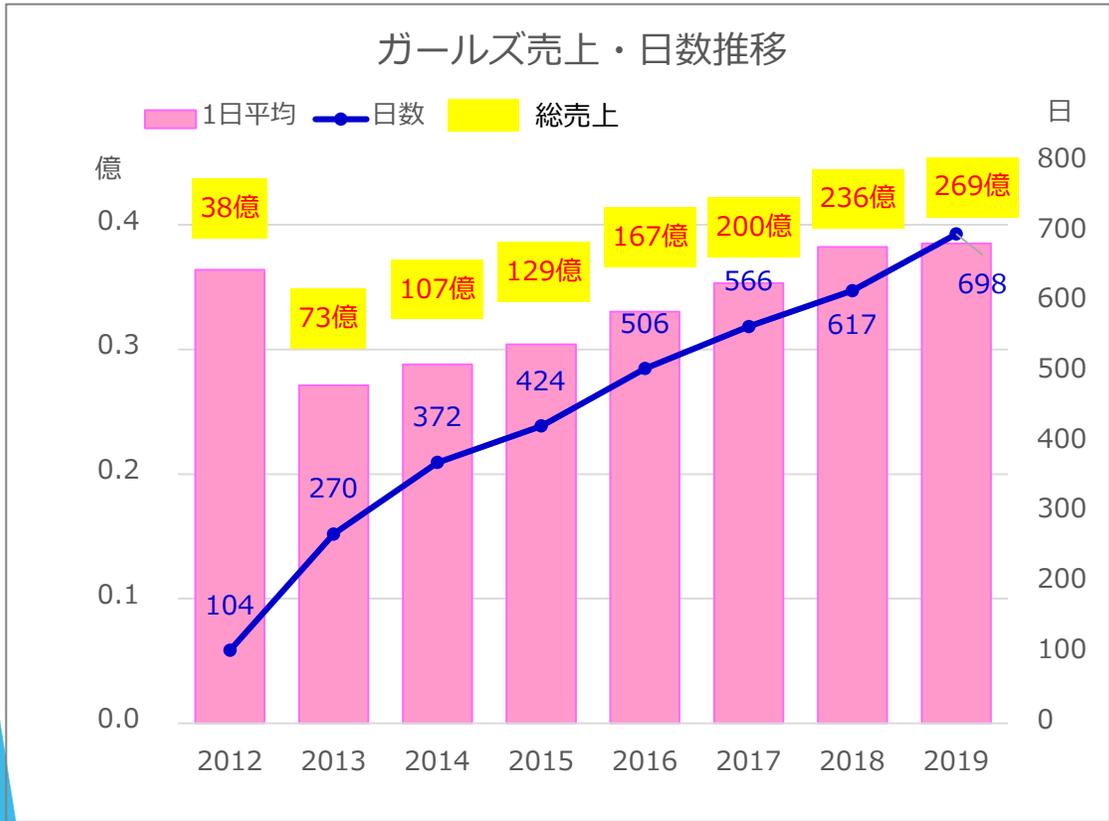
好評につき、「ミッドナイトフィナーレ」（ミッドナイト競輪の年間優勝回数が多い選手を集めたレース）を2018年度より実施している。初年度はスポーツ紙面の拡充やネット広告の掲出、特設ページの作成等を行ったことで、好調な売上を記録した。



# ⑧ ガールズケイリンの現状【JKA】

2012年度から、新たな試みとして国際ルールに準拠した競走ルールと、ファッション性及びスポーツ性を高めた自転車やユニフォームを使用する、エンターテインメント性の高いガールズケイリンを実施している。新たなお客様への浸透に成功し、競輪場は華やかな雰囲気となった。

国内の競輪のみならず、国内外の自転車競技大会にも積極的に参加し、ワールドカップでのメダル獲得など目覚ましい活躍を見せている。



▲ガールズ選手の世界での活躍をPRするポスター



▲ガールズによる華やかな記者会見

## ⑨ ガールズケイリンの現状【JKA】

### ○ガールズケイリンのPR策

#### ・関西コレクションへの出演

2019年3月に京セラドーム大阪で開催され、43,000人を動員した「関西コレクション2019 S/S」にガールズ選手3名がステージ出演し、ランウェイを自転車で走るなど、同年代の女性層に向けてガールズケイリンの認知拡大を図った。また、ガールズケイリンのブース出展ではトークショーやレースの解説も行った。

なお、2020年3月にも出演を予定していた「関西コレクション2020 S/S」は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、感染防止の観点からイベントが中止となった。

#### ・プロバスケットボールリーグの試合でのPR

プロスポーツファンへの訴求を目的に、2019年11月に開催された男子プロバスケットボールリーグ「B.LEAGUE (Bリーグ)」のアルバルク東京のホームゲーム（東京都立川市・来場者数2615人）にて、ガールズケイリン及び同年12月末に立川競輪場で開催されたKEIRINGランプリのPRを行った。

#### ・プロ野球始球式への登板

上記同様プロスポーツファンへの訴求を目的に、2016年のQVCマリン（当時）や2019年のヤフオクドーム（当時）のプロ野球始球式にガールズケイリン選手が登板し、スポーツファンへガールズケイリンのPRを行っている。

【参考】2016年7月31日のQVCマリン来場者数：29,415人  
2019年6月15日のヤフオクドーム来場者数：40,178人



▲関西コレクションのステージ風景



▲Bリーグのイベント風景



◀始球式の様子

## ○『KEIRIN』CM

2019年度の競輪CMについては、「競輪の魅力」を伝えることを目的に、みんなが普段楽しんでいる自転車スポーツの頂点と捉える「競え、自転車。」編と、競輪は、未来に向かって進化していることを表現する「競輪は、進化するスポーツだ。」編の2シリーズを制作し、2019年4月からテレビ、デジタルサイネージ他で放映した。

また、CM公開記念特別企画として、楽しみながら競輪を知ってもらうライブ配信番組『What are you KEIRIN』を配信（2019年4月～2020年3月）した。この番組には雑誌・広告など多数出演しているクロスフィットトレーナーと人気サイクリストYouTuberが競輪選手と一緒に出演し自転車や体の鍛え方などについてトークを行った。

2020年度の競輪CMについては、各種調査（CM好感度調査等）において好感度の評価が高く\*、ならびにCMの継続放映は視聴効果の増大（認知度の向上等）が見込めることに加え、広報アドバイザー（箭内道彦氏）からも同様の助言を受けていることから、現行CMを継続放映している。また、CM企画「競え、自転車。」編と連動したWEB動画「立ちこぎ女子」を4編制作し、けいりんマルシェのコンテンツに加え、公開し、特にインターネット利用機会が豊富な若年層に対して競輪の認知拡大・興味喚起・イメージアップ等を図っている。

\* CM総研「CM好感度調査」（2019年4月度実施）・『自転車篇』好感度スコア31ポイント（競輪CMで歴代2位評価を獲得）



○補助事業PR

「半径1mから、社会は変えられる」をキャッチコピーに、多くの人に社会課題について考えてもらうきっかけとなるよう補助事業のCMを制作し、2019年4月からテレビで放送しているほか、YouTubeやデジタルサイネージ（品川駅）においても配信を行っている。

また、各スポーツ新聞に広告を出稿し、競輪・オートレースの売上金が、社会課題の解決に取り組む活動支援に役立てられていることを広く周知している。



▲各スポーツ新聞への広告出稿



▲CMイメージ「福祉篇」



JKAは競輪とオートレースの売上の一部で、社会課題の解決を支援しています。

○補助事業サイト

『「CYCLE JKA Social Action」～半径1mから、社会は変えられる～』を新たに開設し、補助事業の情報発信を強化した。このサイトでは、JKAが補助事業を通じ社会的課題等に取り組んでいること、また実際の補助事業取材し、多くの方々を紹介することで、「半径1mの身近なところから社会は変えられる」というメッセージを届けている。

【補助事業サイト  
「CYCLE JKA Social Action」】

社会福祉



誰もが音楽を楽しめるには、どうしたらいいだろう？  
『名古屋フォークハーモニクス交響楽団』

「ママと子どもとでその後も、誰かいる人たちが、音楽コンサートに連れて来てほしい。みんなが音楽を聴きたい。」「名古屋フォークハーモニクス交響楽団」のメンバー、福地マサト「夢いっしょの音楽隊」を興し続けてきた。きっかけは公演中に演奏した親子がいたこと。子どもが声を出さるのを、母親が口で歌って声を出さなかった。その姿を見た楽団員が考えた。コンサートこそ求めても、求められない。その「夢いっしょ」は、誰もが音楽を楽しむには、どうしたらいいだろう。一人の気づきからコンサートは始まった。声を出していい。立ち上がっていい。そんな音楽コンサートは2015年11月に20周年を迎え、約6000人が集...



自転車の乗り方、誰に教えてもらいましたか？  
リブレット基金事業計画

志ななは誰か、自転車の乗り方を教えてもらっただろうか？  
バンドルを動かすことで、お金の流れを改善して、自転車に乗ってこれた両親や祖父、あるいは兄弟だったかもしれない。

ある日、突然目が見えなくなったら？  
協会  
ある日突然目が見えなくなるとどうなるだろうか？  
了のない世界に聞こえるかもしれない。しかし、日本で暮らしている視覚障がい者は約30万人のうち、17歳までに視覚障がいを起こした人は17.4%に達し、40歳以降に障がいを発した人は23%に達している。『厚生労働省「食生活習慣病・聴覚障害」（平成25年）」』関係者である、視力を失ったことに対して、『突然目が見えなくなる』ことは、1人1人の身に起こるかもしれない。

CYCLE JKA Social Action  
障障とオートレースの種別事業

CYCLEとは | 記事一覧 | 補助申請者ご取材の方へ | ギャラリー

半径1mから、社会は変えられる。

ひとりの力は小さいけれど、ひとりの力はひとつじゃない。  
みんなが手の届く範囲から動いていけば、世の中にいい循環がつくりだせるはず。  
さあ、まずは知ることからはじめよう。あなたにもできることが、きっとある。

CYCLE 子どものための音楽を支援  
CYCLE 車いすバスケットを支援  
CYCLE 日本のはたけ工業のサポート

CYCLE 盲導犬を育てる支援  
CYCLE パウサイラムを支援  
CYCLE 町工場の研製開発をレポート

CYCLE 障がい者と高齢者を支援  
CYCLE 車いすテニスを支援  
CYCLE 地域の中小企業のサポート

CYCLE JKA Social Action  
障障とオートレースの種別事業

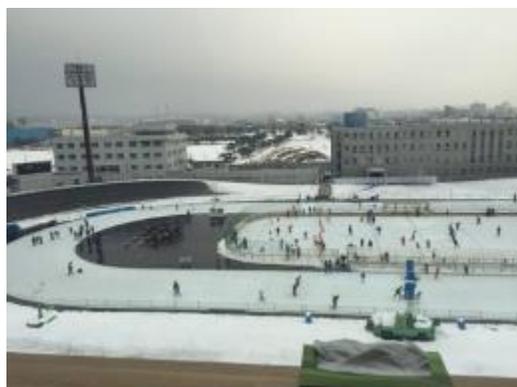


## ⑭ 競輪場の有効活用、先行的な投資の紹介【全輪協】

○一部の競輪場では、競輪場施設等を有効活用、先行的な投資をし、競輪のお客様だけでなく一般市民へも広く開放している。

(一例)

競輪場名	実施事業等	概要
函館競輪場	市民スケート場	本場開催を行わない冬季に競輪場内をアイススケート場として活用
前橋競輪場 小倉競輪場	コンサート等会場	非開催日にグリーンドームをコンサートやイベント、式典会場として貸出
立川競輪場	市民の丘	競輪場敷地内の一部を公園として整備し市民に無料開放
静岡競輪場	Jリーグ観戦パブリックビューイング	J1名古屋グランパス-清水エスパルス戦のパブリックビューイングを競輪場内で実施 (2019年6月22日)
岸和田競輪場 京都向日町競輪場	サイクルピア岸和田BMX サイクルパーク京都	競輪場内にBMXレーシングコース(岸和田)、BMXフリースタイルコース(京都向日町)を設置。練習場や競技大会場として活用



▲函館競輪場 (アイススケート場)



▲立川競輪場 (市民の丘)



▲静岡競輪場 (パブリックビューイング)



▲岸和田競輪場 (BMXコース)

# 15 競輪事業活性化競輪の開催【全輪協】

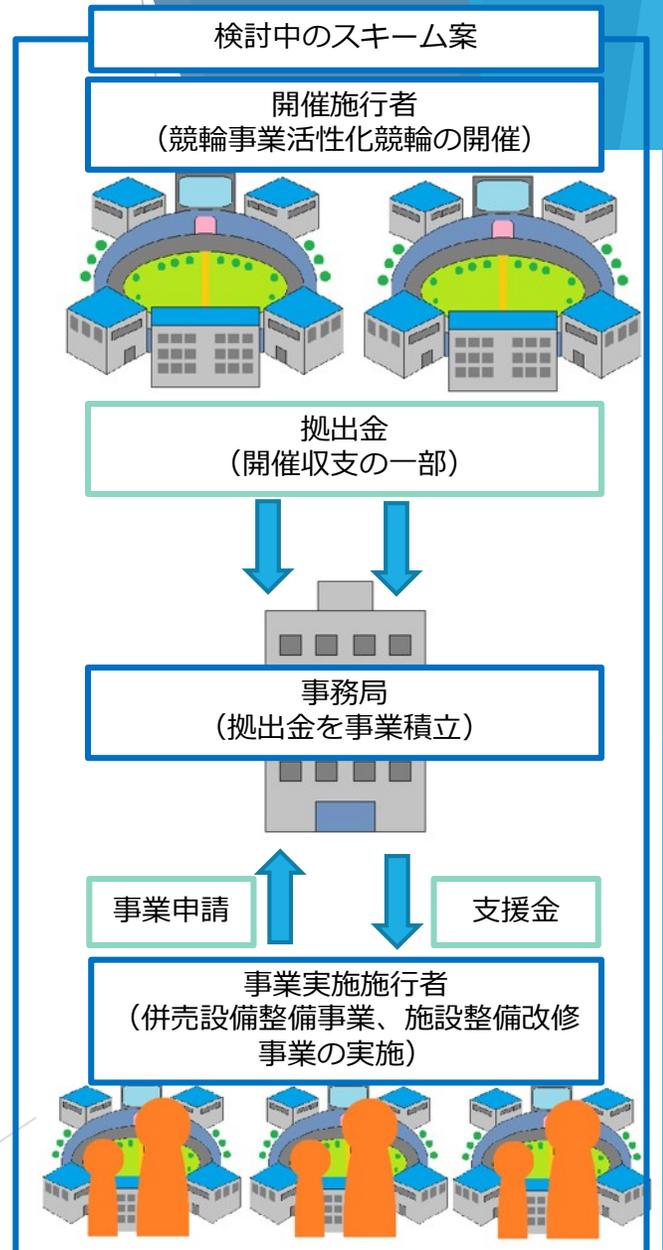
## 目的

収益の底上げのため、場外発売日数の増加を図ることを目的に、複数場の車券発売を売上同時に行う併売を促進し、競輪場の多場併売化を目指す。これに伴い全場での、4場以上の併売実施の実現を図るため、投票機器、映像機器等における多場併売のシステム整備、促進に取り組む施行者をサポートする財源確保策として、競輪事業活性化競輪を実施し、その収益の一部をもってかかる経費を支援する。

## 検討

2021年度からの競輪事業活性化競輪の実施を目指し、現在、関係団体間において具体的な実施要領（支援対象事業の募集期間、選定方法等）を検討中。

- 2019年12月：競輪活性化委員会にて、同幹事会で競輪事業活性化競輪の制度設計（案）の検討を進めていることを報告。
- 2020年 5月：制度設計（案）をもとに、支援申請期間や回数、事業選定方法などを検討し実施要領（案）をとりまとめ。
- 2020年 7月：競輪最高会議で実施要領（案）の了承を得る予定。



## 競輪界としてこれまでに取り組んでいるギャンブル等依存症対策

### 《お客様周知・注意喚起》

- T V C M、開催告知ポスター等における注意喚起文の明示
- 競輪場等における注意喚起チラシ、ポスター、ステッカーの掲示、貼付
- 未成年者のみの入場者に対する警備員の声掛けの強化
- K E I R I N. J P、発売サイト、競輪場等のホームページにおける注意喚起及び問合せ先の周知
- 競輪場等における場内のモニター、大型ビジョン、デジタルサイネージ、場内放送、出走表への印字等による注意喚起
- 公営競技共通の広告指針の策定及び広告宣伝に関する競輪自主基準の策定に向けた検討

### 《相談窓口》

- 競輪場等における相談窓口の設置
- 相談窓口への適切な案内及び相談窓口の明示
- 公営競技共通の一元的・専門的相談窓口として「公営競技ギャンブル依存症カウンセリングセンター」を設置、運営

### 《体制整備・強化》

- 依存症対策に関する施行者担当者及び責任者の選任
- 施行者担当者向け研修会の実施
- 都道府県等が開催する連携会議等に施行者が地域の関係機関の一つとして積極的に参画
- 全輪協及び J K A で構成する「競輪ギャンブル依存症対策推進会議」の設置

### 《アクセス制限の強化》

- 本人又は家族からの申請によるアクセス制限実施のための仕組みの構築（施行者規則改正、運用基準の整備）
- インターネット投票における購入限度額設定の仕組みの導入（2022年度実施予定）

### 《のめり込み防止策・その他》

- 競輪場等における A T M のキャッシング機能の廃止及び順次撤去
- ギャンブル等依存症問題啓発週間における啓発ポスターの作成、大学生を対象としたセミナーの開催
- J K A 補助事業においても依存症対策事業が補助の対象であることを適切に周知

大切なあなただから

競輪をお楽しみいただくために

車券の購入は**20歳**になってから。  
20歳未満の方は、自転車競技法により、車券を購入し、又は譲り受けることはできません。

競輪は**適度**に楽しみましょう。  
車券の購入にのめり込んでしまう不安のある方は下記までお問合せください。

車券の購入にのめり込んでしまう不安のある方へ

<p>公営競技ギャンブル依存症カウンセリングセンター 専門スタッフ(臨床心理士)によるカウンセリングを行っています。</p> <p>【電話カウンセリング】 0120-321-153 受付可能時間：平日9:00~20:00(土曜・日曜・祝日・年末年始は休業)</p> <p>【メールカウンセリング】 https://fms-soudan.com/gamble/ 受付から概ね3営業日以内に返信いたします。</p>	<p>ご本人やそのご家族からの申請により、競輪場・場外車券売場への入場を制限することや、インターネット投票の利用を制限することもできます。</p> <p>【競輪場・場外車券売場への入場制限】 本競輪場・場外車券売場のインターネット投票コーナーへ入場制限が実施されています。</p> <p>【インターネット投票の利用制限】 ○ 競輪フィールドサイト(KEIRIN.JP)での利用の制限 ※ 本人または家族からの申請により、競輪フィールドサイト(KEIRIN.JP)での利用が制限されています。 ○ その他 ○ その他 ○ その他</p>
---	---

▲競輪独自ポスター  
(場内各所に掲示)

車券の購入は**20歳**になってから。  
競輪は**適度**に楽しみましょう。

車券の購入にのめり込んでしまう不安のある方は以下までお問合せください。  
専門スタッフ(臨床心理士)によるカウンセリングを行っています。

公営競技ギャンブル依存症カウンセリングセンター

☎ **0120-321-153**  
(ご利用になる場合は、ご予約をお願いします。)  
予約可能時間：平日9:00~20:00

▲競輪独自ステッカー  
(各発売機等に貼付)

## ●現在のレース映像の活用状況

各競輪場で制作したレース映像は、現在、各施行者による個別管理の下で活用されている。

項目	内容
各競輪場での活用	<ul style="list-style-type: none"><li>・開催競輪場内での放送</li><li>・動画共有サイト（YouTubeLive、ニコニコ動画等）</li></ul>
競輪統合映像集配信ネットワーク（BRONSE）（※）を通じた配信	<ul style="list-style-type: none"><li>・KEIRIN.JP（オフィシャルサイト）</li><li>・場外車券売場への映像配信</li><li>・SPEEDチャンネル（CS放送）</li></ul>
その他民間事業者による活用	<ul style="list-style-type: none"><li>・民間ポータルサイト関連Webサイト等（インターネットテレビ・中継番組等）</li><li>・テレビ局での中継番組制作</li></ul>



インターネット投票の売上増加が見込まれる中、レース映像への需要がますます高まることが予想される。

※競輪統合映像集配信ネットワーク（BRONSE）・・・開催競輪場のライブ映像・音声を、KEIRIN.JP、全国の競輪場、場外車券売場、CS放送に配信するために業界で構築したシステムのこと。

# ⑰ レース映像に関する今後の管理体制についての研究【全輪協】

## ●現在の管理体制・運用形態における課題と対応

【現状における課題】

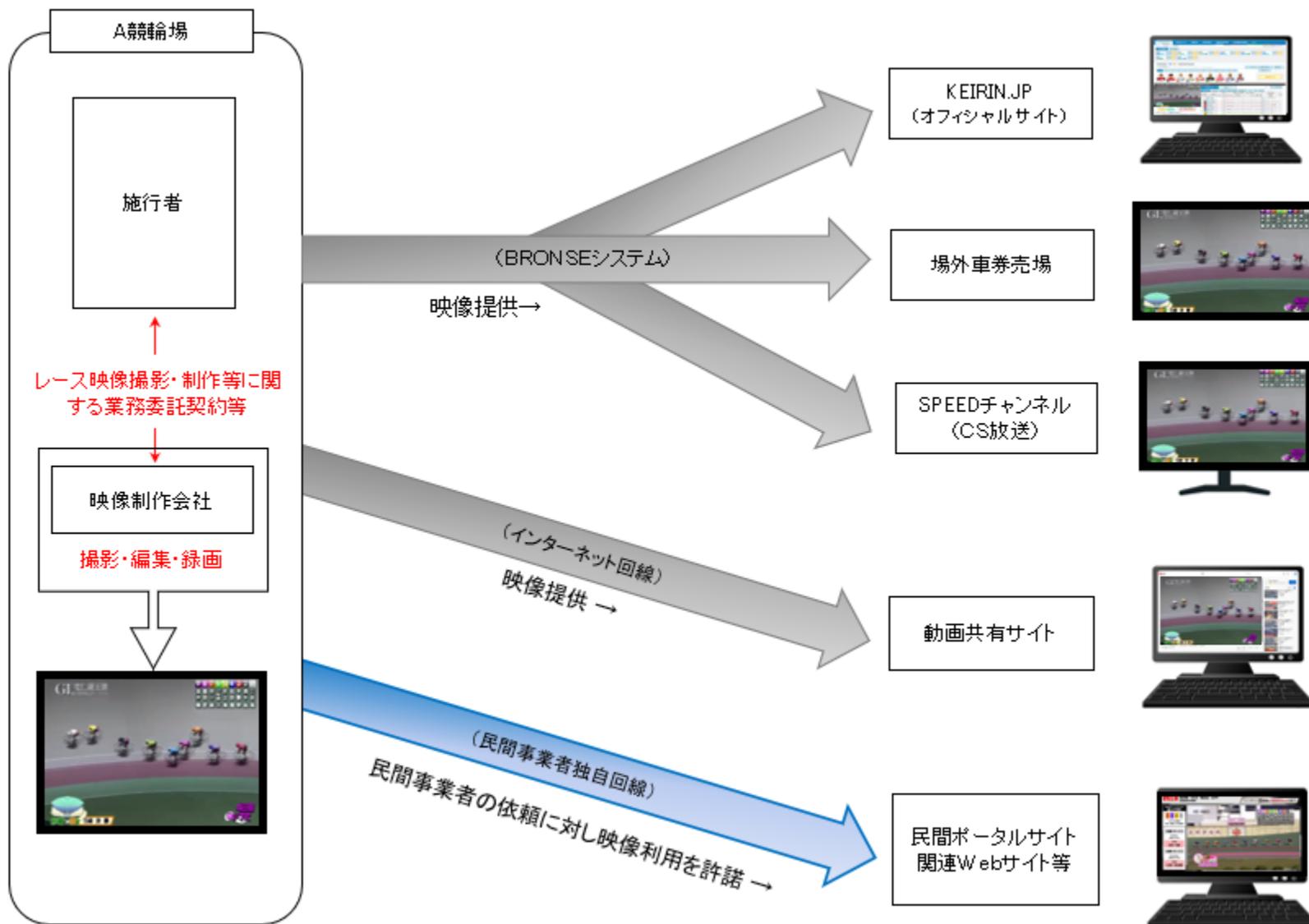
項目	内容
権利侵害等の対応	・インターネット上で、個人、法人問わずレース映像の利用が可能となっている中、個々の施行者が、あらゆる映像利用の実態を把握し、適切な対抗措置を講じることは困難。
映像使用料	・民間事業者に対して無償で利用を許諾している。
映像価値	・レース映像の価値を高めるためには、各競輪場で個別対応ではなく、全競輪場全レースを一括して取り扱うことが必要。



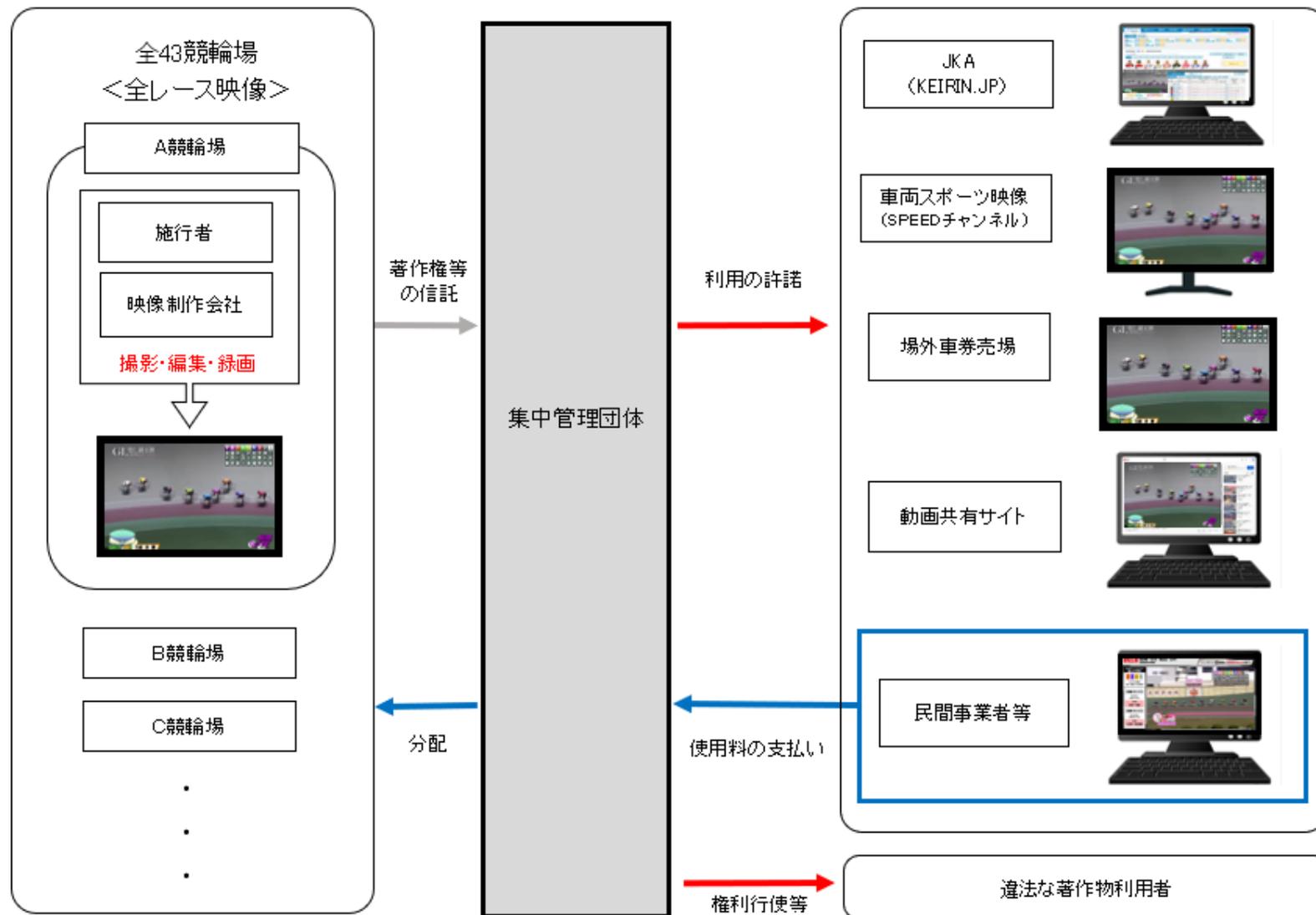
各競輪場のレース映像を一元化し、集中管理することで、的確な管理のもと、「レース映像」を有効に活用できる仕組みづくりが必要。

現在、全国競輪施行者協議会において、集中管理に関する研究・検討を開始している。

## (参考1) 現状のレース映像制作・放送等の流れ



## (参考2) レース映像の集中管理 イメージ

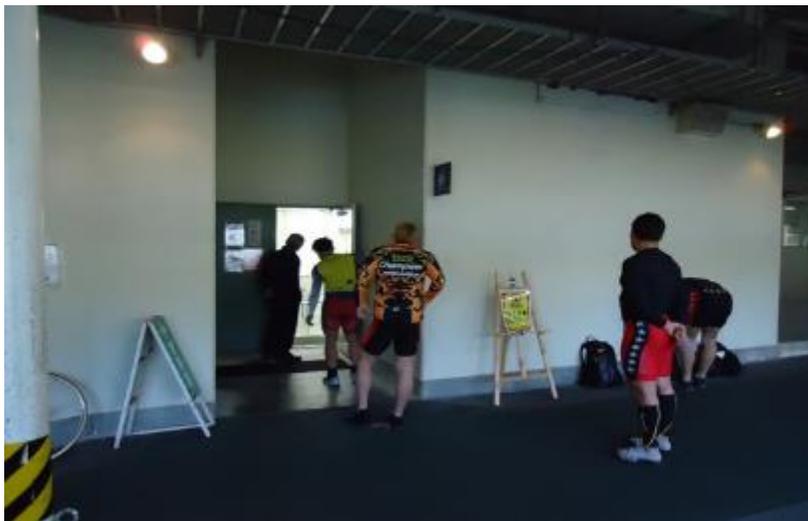


	競輪	オートレース
新型コロナウイルス感染症対策本部での取り組み	政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」（令和2年5月25日変更）、「競輪・オートレースにおける新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン」及び「新型コロナウイルス感染症対策要綱」に基づき新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施。	
選手あっせんについて  人の移動を少なくする観点から、全国を対象にした選手あっせんから、地域を限定して選手のあっせんを行う。	<p>◎基本的に全国交流としていることから、『人の移動を少なくする』を達成させるため、可能な範囲での地区交流とし、選手の移動を制限した。</p> <p>◎可能な限り「地区内あっせん」（隣接するエリア含む）を実施</p> <p>◆対象開催: GⅢ・FⅠ・FⅡ</p> <p>◆対象期間: 6月から9月まで</p> <p>◆内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ (A) 北日本・関東・南関東地区の競輪場 北日本・関東・南関東地区の選手を中心にあっせんする。</li> <li>▷ (B) 中部・近畿地区の競輪場 中部・近畿地区の選手を中心にあっせんする。</li> <li>▷ (C) 中国・四国・九州地区の競輪場 中国・四国・九州地区の選手を中心にあっせんする。</li> </ul>	<p>◎基本的に全国交流としていることから、『人の移動を少なくする』を達成させるため、可能な範囲で居住地優先とした交流とし、選手の移動を制限した。</p> <p>◎選手の居住地を優先した周辺競走場へのあっせん</p> <p>◆対象開催: GⅠ・GⅡ・普通開催</p> <p>◆対象期間: 5月から7月の間 (8月から段階的に解除)</p> <p>◆内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 東日本地区3場周辺居住選手 川口・伊勢崎・浜松オートレース場のいずれかへあっせんを行う。</li> <li>▷ 西日本地区2場周辺居住選手 飯塚・山陽オートレース場のいずれかへあっせんを行う。</li> </ul>

	競輪	オートレース
レース車立てについて レース数を確保しながらも、3密回避の一つとして参加選手数を減少させる。	<p>◎ 3密回避への取り組み ▷通常、競輪開催は概ね100名程度が参加しているため、ガイドラインに沿った運用として、全体参加選手数を60名程度とする等、対策を講じた。</p> <p>○原則として7車立9レース制に変更 ◆対象開催: GⅢ・FⅠ・FⅡ</p> <p>◆対象期間: ▷7月より9月までの間 (10月以降については、別途、検討していく)</p>	<p>◎ 3密回避への取り組み ▷オートレース開催は通常96名が参加しているため、ガイドラインに沿った運用として、全体参加選手数を84名とする等、対策を講じた。</p> <p>○7車立12レース制に変更 ◆対象開催: 普通開催のみ (グレードレースについては8車立てを継続)</p> <p>◆対象期間: ▷6月及び7月 (8月から段階的に解除)</p>
その他	◎ 6月のGⅢ内で実施予定であった単発レースについては、全国あっせんとなっていたことから、実施を取り止めた。	



▲非接触型体温計による検温



▲医務室入り口（適度な間隔を保ち待機）



▲選手食堂では対面での着席を避けるため使用禁止の席を明示